

Go Beyond～今の自分を超えてゆけ！～

校長漫筆記

令和 8 年 10 月 23 日

姫路市立高等学校

校長通信 第 24 号

文責 平山智樹

飛び出せ「未知の世界」へ、新しい自分を発見しよう

高校時代、皆さんに大切にしてほしいことの一つに、「多くの人との出会いを通じ、自分の知らなかった世界を知ること」があります。

人は、自分だけの考えやいつもの友達グループの中にと、自分の「枠」を広げるきっかけになかなか出会えません。しかし、自分とは違う考えや背景を持つ人と出会い、話をし、何かを吸収した瞬間、視野は一気に広がり、考え方が深まります。これこそが「今の自分を超えていく」最大の原動力です。



この 1 か月を振り返っても、本校には「世界」や「地域」とつながる素晴らしい機会が次々と訪れています。

市長・教育長との触れ合いからは、姫路市のトップとして街の未来を背負う方々の期待の大きさを直接感じ取れたはずです。

オーストラリアの高校生との交流では、国境や文化を越えて言葉を交わし、同世代のグローバルな視点に触れる貴重な体験となりました。

明日からの世界最高峰「ミネルバ大学」の学生とのフィールドワークもその一つです。実は、学校関係者の中では「ミネルバ大学と交流できる」というのは、信じられないほど奇跡的で貴重なことです。固定観念にとらわれない彼らの課題解決への姿勢や学びの情熱に触れることは、皆さんの価値観を大きく揺さぶる体験になります。

また来週は、西二階町商店街の活性化イベントに 20 数名がボランティア参加します。探究学習で「街の活性化」に取り組む生徒にとっては、教室を飛び出して現場で試せる絶好のチャンスとなります。

普段の生活では、こうした出会いも「誰かが参加する行事」として通り過ぎてしまうかもしれませんが、これらはどれも「滅多に巡り会えない特別なチャンス」です。

学校から一歩踏み出し、これまで接したことのない人と話すこと。

未知の世界に触れ、「こんな考え方や生き方があるんだ」と驚くこと。

その体験で身につく柔軟な考え方や思考力、多くの気づきは、生涯にわたって皆さんを支える一生モノの力になります。

本校には、成長のきっかけとなる「出会いの種」がたくさん転がっています。

「面白そう」「やってみよう」——そんな小さな好奇心で十分です。自分から一歩踏み出し、多くの人と関わってみてください。素直な心で色々な価値観を吸収できるのは、頭も心も柔らかい「高校生」という今だけの特権です。